

新たな試験地設定

課題名：エリートツリーコンテナ苗を活用した低コスト造林技術の開発

場 所：和当地国有林127れ林小班
日南市（宮崎南部署管内）

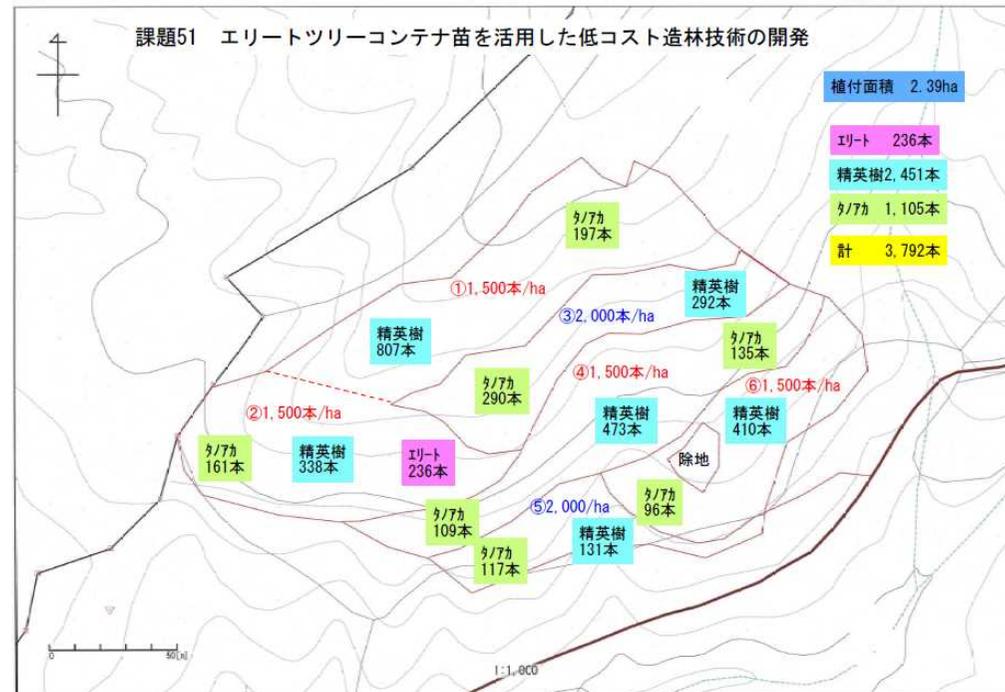
時 期：平成28年2月上旬（植栽）

【概要】

スギエリートツリー7系統、スギ精英樹12系統をHAあたり2000・1500本で植栽。

今後、エリートツリーを植栽した箇所について、造林木とそれ以外の雑草・雑灌木等の成長を見極めながら、下刈省略を検証していくとともに、当地に最も適応する系統の検証等を行うこととしている。

また、しっかり系統管理を行い、穂木の供給にも貢献したいと考えています。



民国連携した成果報告会

○森林・木材関係研究機関による合同 研究成果報告会

- ・日 時 : 平成27年12月18日
- ・場 所 : 宮崎市
- ・発表機関 : 宮崎県林業技術センター
宮崎県木材利用技術センター
宮崎大学農学部
森林技術・支援センター
- ・参加者 : 九州森林管理局・宮崎県職員、宮崎大学
職員及び学生、林業関係者 約130名
- ・森林技術・支援センターの発表者(写真)
森林技術普及専門官 池水 寛治



発表の様子

○当センター以外の発表課題

機関名	発表テーマ	発表者
宮崎県 林業技術 センター	コンテナ苗生産の効率化について	森林環境部 三樹陽一郎
	クヌギの木粉を利用した菌床シイ タケ栽培	森林資源開発部 新田 剛
宮崎県木材 利用技術 センター	宮崎県における木造建築物等の 動向について	構法開発部 下温湯盛久
	ドイツ・オーストリアにおけるCLT工 場と現場視察について	構法開発部 川崎 茂樹
宮崎大学 農学部	低コスト再造林の最先端:下刈省 略とコンテナ苗夏季植栽について	講師 平田令子
	タワーヤードの活用を探る — 路網・システム・機械 —	准教授 櫻井 倫

【概要】

宮崎県内の研究機関による成果報告会として実施。

当センターからは、森林技術普及専門官 池水 寛治より、「九州地域における低密度植栽の検証について」と題して、九州森林管理局管内8署等において、10年程前に1,500本/ha植栽した箇所とその比較対照地(2,000~3,000本/ha)の成長状況を調査し現段階で同等程度の成長をしていることなどを報告した。

現地視察(受け入れ)

○早生樹について現地案内

時 期 : 平成27年9月10日

場 所 : 広葉樹展示林(宮崎市去川国有林)

参加者 : 住友林業(株)資源環境本部山林部
住友林業フォレストサービス(株)
11名

説明者 : 森林技術・支援センター
所長 古市 真二郎

【概要】

全83種の広葉樹が植栽されている広葉樹展示林(写真上)において、早生樹種のチャンチンモドキ、センダン、ユリノキ等について、成長状況等を説明し意見交換した。

その後、都城支署管内の次代検定林(九熊162号)に一部試験的に植栽しているコウヨウザン(写真下:H24年3月植栽)等を視察した。



蜂の誘引捕殺について

○作業予定試験地において

- ・日 時 : 平成27年5月27日
- ・場 所 : 宮崎南部森林管理署
和当地国有林(日南市)
- ・内 容 : 蜂の活動が活発化する前に女王蜂を捕獲することが、蜂刺され対策に効果的であることから、時期的に少し遅れ気味ですが、今年度、新たな試験地となる箇所に、蜂トラップを仕掛けました。
当センターにおける蜂トラップの作り方をご紹介します。是非、ご活用してみてください。

写真: 試験地に仕掛けた蜂トラップ



蜂トラップの作り方 (ペットボトルを利用)

= 侵入口 =

○ペットボトル側面に2箇所以上、上と横をそれぞれ1cm切り(下は残す)、内側に90度曲げる。

= 誘引液 =

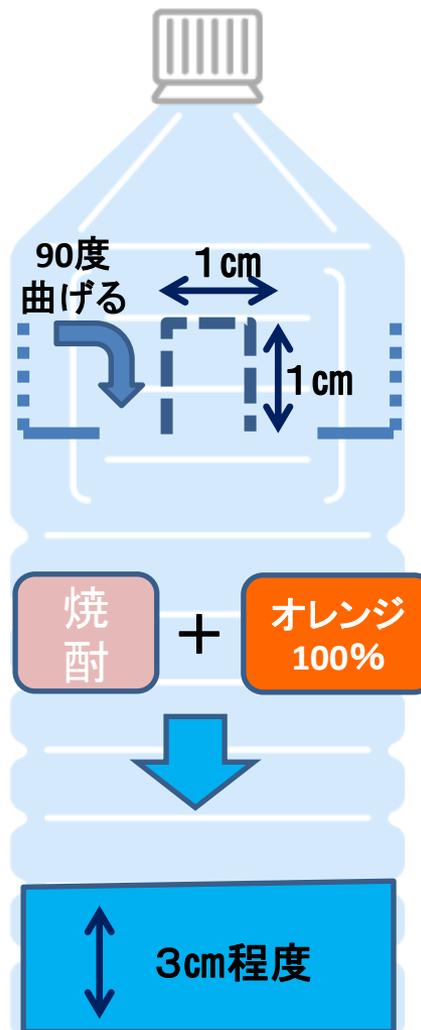
○焼酎とオレンジ100%を1対1で混合する。
○ペットボトル内の誘引液の量は底から3cm程度とする。
○誘引液は週に1回交換する。

= 設置の時期 =

○5~6月は女王蜂が、5月下旬以降は働き蜂が捕獲される。
※女王蜂の捕獲が有効

= 設置の方法 =

○ペットボトルをひもで結び、地面から1~1.5m程度の高さの木の枝等にぶら下げる。



エリートツリーコンテナ苗植栽による下刈回数の削減に向けて

成長の優れたエリートツリーを活用して低コスト造林(下刈回数の削減)が実現できないか事業ベースで検証するため、国有林試験地で良好な成長を見せるエリートツリーから採穂し、育苗中です。

穂木は昨年9月に採穂し、苗畑に床挿しをして、**今年の5月末にMCコンテナへ移植**しました。

移植の際、当センターでは、系統別の生存率、発根状況、苗高、根元径を計測しました。

来年の2月頃には、宮崎南部署の国有林へ植栽予定であり、現地での下刈回数等について検証していくこととしています。

- ・採穂場所: 宮崎森林管理署都城支署 青井岳国有林1099林班等
- ・採穂時期: 平成26年9月25日～26日
- ・採穂した系統数等: 19系統 約4,600本
- ・移植時期: 平成27年5月20日、22日
- ・育苗場所: 長倉樹苗園(宮崎市)



①試験地から採穂



②系統毎に管理



③挿し木の大きさ



④系統毎に床挿し



⑤移植準備(堀取り)



⑥コンテナに挿す前に1本1本系統管理



⑦苗木の発根状況、苗高、根元径を調査



⑧コンテナへ移植



⑨コンテナで育苗中